

新理事長に渡辺勇雄理事（ハウス・レストラン委員長）。

古泉桂四郎前理事長は名誉顧問（塩原カントリークラブ）に。



（渡辺新理事長）

塩原カントリークラブの理事会が10月23日に開かれ、かねて辞意を示されていた古泉理事長が退任、規約に則り後任の理事会互選の結果、ハウス・レストラン委員長の渡辺勇雄理事が理事長に選任された。

渡辺理事長は中村土建(株)代表取締役会長で、入社間もなく塩カンのクラブハウス建設に現場監督として携わった。今春発行された会報「塩原」の開場50周年記念号に当時の苦勞と思い出、塩カンへの思い入れを寄せている。

古泉前理事長は一昨年に理事長に就任、その直後に表面化した民事再生問題の対応に苦勞し、塩原ゴルフクラブ側とのバランスのとれたクラブ運営を第一に舵取りを続けてきた。その苦勞に應えるために、塩原ゴルフクラブが名誉顧問への推挙となった。また、総務委員会の村田稔委員が理事に選任された。また、10月6日の月例杯Aクラスで、緑川文雄キャプテンがグロス76とエイジシュートを達成して優勝、エイジシュート認定証が授与された。

このほか、理事会では本年度冬季料金、令和2年度シーズン料金、同年会費などについて審議した。プレー料金、年会費についてはゴルフクラブ側から告知されるが、年会費は消費税の値上がり分の上乗せだけとなっている。



「キャディさんの確保が難事」「選手ファーストで・・・」

——緑川キャプテンら茨城国体・女子の部を視察——

塩原カントリークラブの役員らが10月1日、茨城県笠間市の宍戸カントリークラブで開催された第74回茨城国民体育大会のゴルフ競技・女子の部2日目の競技を視察した。参加したのは緑川文雄キャプテン、早坂幸治コース委員長、四ッ谷定男競技委員、井上安正フェロウシップ委員長、堀越三津夫クラブ社長。

2022年に受け入れる国体・女子の部の準備が本格化するのを前に、競技施設とその配置、運営方法などについて、留意点を確認するために行った。宍戸には東西コースの36ホールがあり、女子は東コース、少年の部が西コースで開かれた。女子は47都道府県141選手（1チーム3人）、少年はブロック予選があるため28都道府県84選手（同）が参加、9月29日が練習日、30日、10月1日の2日間にわたって熱戦が繰り広げられた。

大会本部、役員・選手受付、役員控え室、選手・役員ロッカー、スコア提出所、報道員室、来賓接遇スペース、総合案内所などの施設について確認。大テントを使って、表彰式場、補助役員控え所、売店なども設けられていた。全体配置から塩原でも大テント使用が必要になりそう。

競技運営の面では、1組3選手制で1カートにそれぞれ1人のキャディがつくため、正キャディだけで47人、ボールの落下点の確認、安全確保のためのフォアキャディを加えると、比較的真っ直ぐで平坦な塩原のコース特性を考慮に入れても、90人前後のキャディを確保することが必要になりそう。「これが最も難しいことになるかも」という見方で一致した。

また、スタートホールでの選手のコール、紹介で役員が椅子に座ったままだったが、立居用のテーブルを使い立ったままでやった方が、「選手ファーストで好感が持てる」という認識を共有した。ちなみに、日本女子オープンはこの方式だった。

今後、那須塩原市の主導で進められる準備委員会（実行委員会）で準備の詰めが行われるが、塩原ゴルフクラブが担う項目の仕分けによって、カントリークラブ側が「協力すべきこと」を見極め、早めに支援体制を組むことになりそう。

★茨城国体視察の様子は、次ページです★【写真は早坂幸治コース委員長撮影】







グリーンとサイドの刈り込み5段階

——茨城国体・少年男子の部——

宍戸ヒルズ CC (茨城・笠間市) 東コースの茨城国体・少年男子18番の上がりホールはなんと5層に刈り込まれていた。グリーン、エッジ、その外側の斜面も2層に刈られ、その外側にラフ。

上り傾斜のグリーン右サイドにはバンカー、左は斜度のきつい斜面。正確にグリーンを捉えなければ、旗の根元が見えないバンカーあるいは深いラフに転がり落ちるのは必至。これは、開催前に日本ゴルフ協会 (JGA) からの要請による仕様だったという。

塩原で開催されるのは女子の部で、グリーンの大きさ、形状などとも関係してくるが、グリーン周りの整備にも細かな気遣いを求められそうだ。

塩原カントリークラブ! 攻略編!! 【北コース】 — 中里 鉄也プロ —
☆北コース1番☆



【コース解説】

ティーグラウンドからグリーンセンターまで高低差12ヤード、打ち上げのややストレートなホール!
ティーショットは、左側OB、セカンドポジション付近にバンカーが有り、打ち上げの為、右にいきやすい!
2打目以降、右から左に傾斜の有るフェアウェイ! 左に行きやすい!
グリーンは、奥から手前に傾斜が強く、カップ手前から攻めたい!
このホールは、上下左右距離感の難しいホールです。

【中里プロからのアドバイス】

左バンカーの右側にアドレスをとり、プッシュアウトで良いくらいの感じで、スイング! 2打目以降は、両グリーン間の松の木にアドレスをとりスイング! アプローチするなら? グリーン左手前からがベスト!
打ち上げの為目線が、上を向き、ヘッドアップ! 目線を低く、低い弾道のショットを打つイメージでスイング!

次回は、北コース2番を紹介します!!



那須の小天狗・小針春芳伝 ③

井上 安正

機関士への夢が断たれた小針春芳にキャディの道を用意してくれたのは、那須ゴルフ倶楽部だった。那須・茶臼岳の周辺では江戸末期から明治の初めにかけて、温泉が見つかり、今の那須湯本といわれる地域に湯治場が出来た。1925（大正14）年に当時は摂政宮だった昭和天皇の那須御用邸の完成を境に、東京の財界人や学者が別荘地として注目し始めた。

そうした機運を那須温泉土地株式会社が敏感に捉え、御用邸近くに那須近光荘（第一近光荘）と名付けた温泉付き別荘地を売り出した。広い区画に温泉、上下水道を整え、財界人や東大教授ら一流学者の別荘地になった。御用邸ブームも手伝って評判となり、第二近光荘にまで手を広げた。しかし、土地は売れても、別荘の建設の動きがにぶく危機感を抱き、当時の日本勧業銀行副総裁・石井光雄の助けを求めた。

「軽井沢のようにゴルフ場でもあれば」という石井の発想で、ゴルフコース設計家・藤田欣哉、井上誠一らに現地を見てもらうことになった。和風旅館「山楽」の裏手の山は広さが中途半端、八幡にあるツツジが群生す大斜面は、日当たりが悪く「問題外」とされた。那須温泉会社が窮したあげく、温泉神社の西方にある村有地を含む放牧場へ案内した。

雄大な茶臼岳、山裾に広がる起伏の豊かな原野。藤田は「これは天与の土地です」と驚嘆の声を上げた。曲折の末に1936（昭和11）年7月、那須ゴルフ倶楽部のインの9ホールが完成して開場にこぎつけた。コースを設計したのは井上で、後世にその処女作品と言われている。機関士の夢が敗れた春芳少年はその年、24人の同期生とキャディとして採用された。翌年、アウトコースも完成、7月に始球式にグランドオープンした。偉大な戦績を残した小針は、文字通り「那須の申し子」だった。

メンバーの多くは東京の財界人、学者で周辺に別荘を持っていたが、電話を引いていたメンバーは少なく、次の日のスタート時間は、フロント担当者が暗い山道をチョウチンのほのかな光を頼りに、一軒一軒ふれて回ったという。家族的なゴルフ倶楽部で幼子を抱えたメンバーが女子キャディに乳飲み子をおんぶしてもらって、プレーしたという逸話が残っている。

（つづく）



10月19、20日開催の西那須野産業文化祭に塩カン出店♪

— スナッグゴルフ体験会開催 —

にしなすの運動公園で開催された西那須野産業文化祭に2日間出店。初日（19日）は生憎の雨模様でしたが、2日目は晴天でした。2日間合計の来店者数は約328名、昨年が約340名なので少し対前年比では少なかったですが、天気を考慮すれば例年通りという結果となりました。

ご来場くださった皆様方、ありがとうございました。

印象に残っていることは、子供たちの笑顔です!!

子供たちはボールを打てたり空振りしたり色々でしたが、楽しくクラブを振る、ボールを打つことを楽しんでくれたことは、出店してよかったなと感じております。

また、塩原CCとしてこれからも地域貢献や地域にゴルフを根差したいという想いを今後も継続していきたいと思えます。

本当にありがとうございました!!

これからもスナッグゴルフはもちろんのこと塩原CCにお客様が遊びに来てもらえるようスタッフ一同お待ちしております(*^^)v





—— 編集後記 ——

台風 15、19 号は東日本に大きな爪あとを残したが、塩カンには枯れ枝の落下などはあったが、コース自体には大きな被害はなかった。が、台風通過前後の2週間は昨年より400人の入場者減で、最も痛い被害だった。ゴルフクラブ側ではカートに、ゴルフコース専用のカーナビの搭載を構想していると聞いた。距離やグリーン、バンカーなどの配置がすぐわかり、スコアの入力も可能になり、コンペでも最後の組がホールアウトと同時に全体の成績が出るようになるかも。紅葉、新緑など自然の後押しもあるし、台風被害を押し戻す手は色々ある。

井上 安正

